

キリスト者共同体東京集会所 2006年8月～9月の催し案内



8月12日(土)～14日(月) 東京集会所夏の講座

キリストの太陽の祈り ～“我が父よ”を深める三日間

司祭、輿石麗、輿石祥三

お盆のさなか、終戦の日である8月15日に先立つ土日月の三日間、今年はキリスト教の中心の祈りである「我が父よ一主の祈り」をテーマにした夏の講座を開催することになりました。三日間にわたる儀式と礼拝、講座と話し合いを通して「我が父よ」を共に深め、良き夏の実りを得ることができれば幸いです。

☆ 別紙チラシをご覧ください。

9月10日(日) 11:45～13:00 座談会

キリスト者共同体について～その成立と現状、参加のあり方

キリスト者共同体は84年前の1922年9月にスイス・ドイツで発足、21世紀の現在、この日本でも活動が開始されました。時代にふさわしい宗教のあり方を求めてこの活動が誕生した意味、その現状と未来に思いをはせながら、具体的な参加のしかたについて共に考えます。特に、「成員」としての参加について理解のヒントになるような話し合いがもてればと思います。キリスト者共同体について関心をお持ちの方なら、どなたでも自由にご参加いただけます。ふるってお集まりください。

8月6日(日)11:45～13:00 座談会

戦争と平和を考える

日本の八月は、多くの地域で盆の静かな雰囲気と、第二次世界大戦をめぐる出来事の思い出とが重なる特別な期間です。この八月の始まりにあたって、集会所にお集まりの皆様でくつろいだ座談の輪をなし、「戦争と平和」への想いを深めましょう。語るもよし、耳を傾けるのもよし、どなたでもご参加歓迎いたします。

8月20日(日) 礼拝後が終わり昼食後、集会所を出発
社会建築イニシアティブ“社会建築ツアー”
第三回 岡本太郎「明日の神話」展/探訪

汐留日本テレビ(日テレタワー、JR新橋歩5分)。岡本太郎「明日の神話」展及び汐留再開発地域を探訪します。

今ふたたび注目される岡本太郎は、シュタイナーが、芸術はもっぱら「現在」にかかわり、過去や未来にかかわるべきではないと云う信念と同じ信念で、「過去に逃げることなく、未来に逃げることなく、私は常に現在の中で爆発するのだ」と云った事があります。

今、メキシコで見つかった彼の大作『明日の神話』が修復され、汐留の日本テレビ前に野外展示されています。(同展開催は8月31日まで)

広島と長崎に落とされた原爆の爆発を描いたと云われるこの作品、今も「現在」として爆発しつづけているのです。

新しい建造物(汐留再開発地域)と共に、新しい空間を体験しましょう。
(小林直生)

ミカエル祭の予告

10月1日(日)11:45～13:00 連続講演

「人間聖化式と共に生きる」第六回

ミカエル祭のエピステル 輿石麗

10月8日

9:30 子供のためのミカエル祭「ミカエルの剣」

(4才以上対象、申込締切9月25日)

11:45～13:00 ミカエル祭の考察

“大天使ミカエルの姿を求めて” 輿石祥三

10月16日(日)13:00～15:00 景教講座

“知られざる東方キリスト教” 小林直生

以上の催しは水道橋の東京集会所で行われます。なお、会場にてご寄付(金額自由)をお願いいたします。

キリスト者共同体 東京集会所

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-6-15-201 (JR水道橋西口下車一分) Tel/Fax 03-3221-5111

Eメール info@kirisutoshakyodotai.org ホームページ <http://www.kirisutoshakyodotai.org>